



みんなのCMプロジェクト

◆企画概要◆

ヒルサイド市民創発メンバー H-53 梅香家 聡
2009.4.10





みんなのCMプロジェクト

- 基本コンセプト

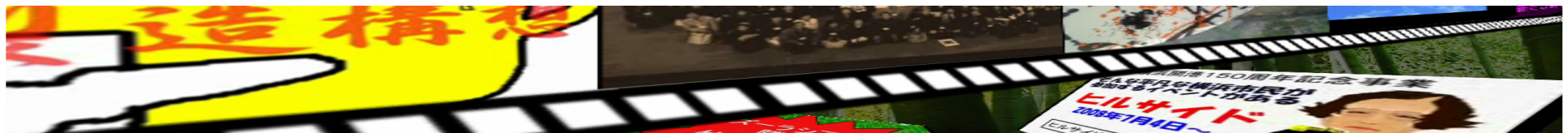
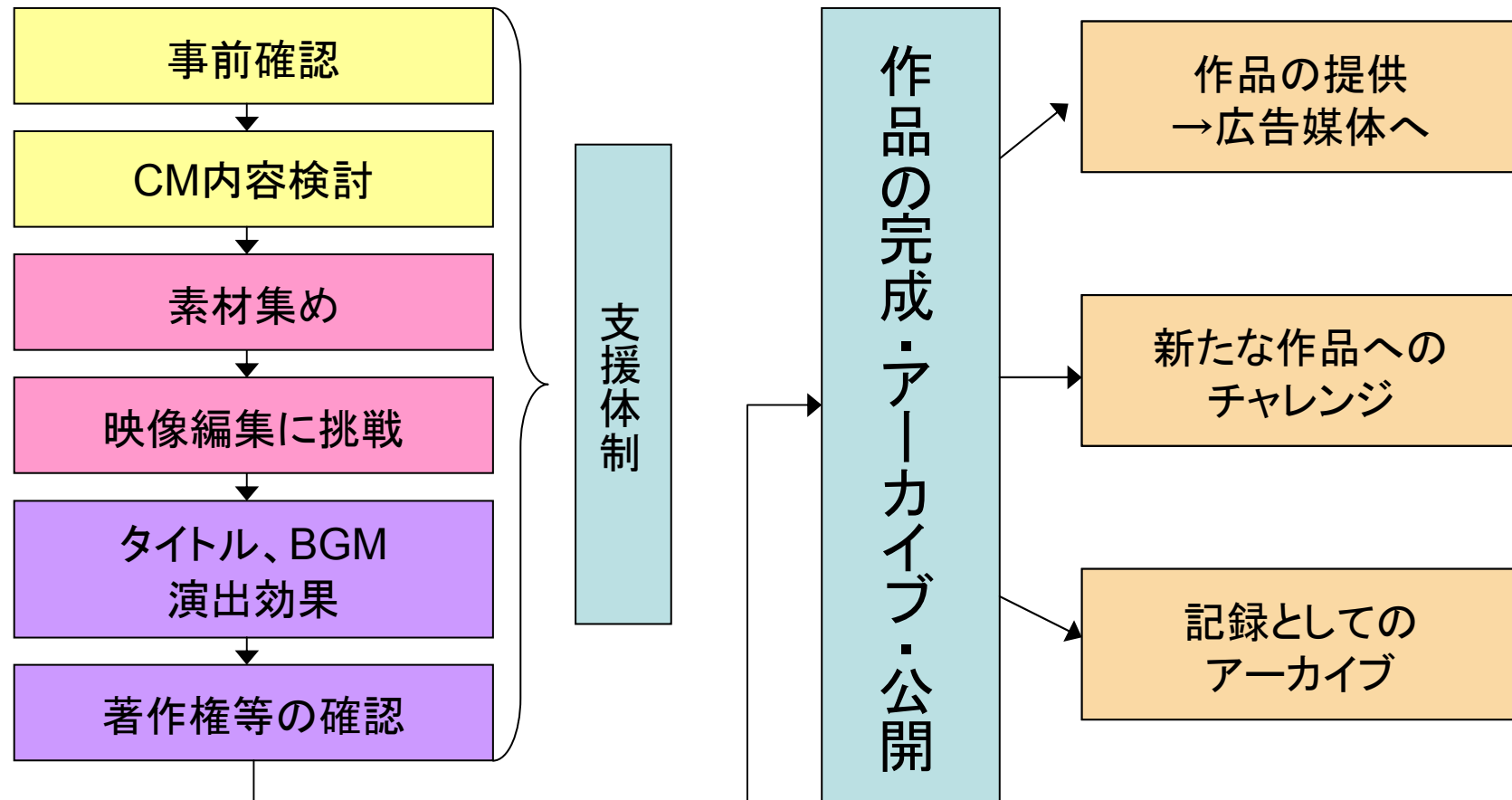
- 映像を自ら作ってみる、チャレンジ、創発
- 多くの人々の目に触れる広報活動、目新しさ
- 困ったときの支援体制
- 市民参加イベントの広報支援、ツールとしての活用
- 映像を用いた作品としてアーカイブ、共有
- 学びの場、コミュニケーション、スキルアップ





みんなのCMプロジェクト

• 進め方





みんなのCMプロジェクト

• 事前確認

– 何を広報したいか？

- イベントに来てほしい、プロジェクトを理解してほしい、一緒に活動する人を募集などの目的を明確にする

– 映像にする意義

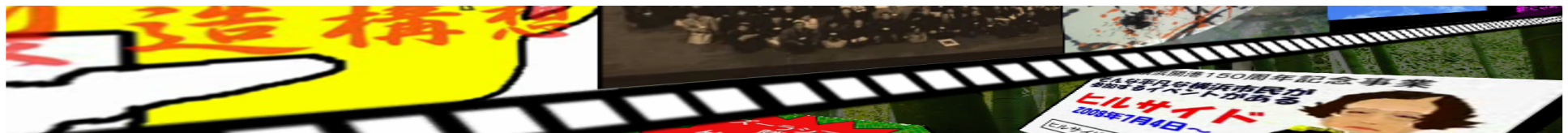
- 受け手の心理を考える。効果のある広報戦略を考える。

– パソコンスキルの確認

- PC機材の確認、スキルの確認、高望みしない、自分でできることの確認

– 作る側としての意識

- TV、インターネットで映像があふれる時代。作る側になっての下調べ、自分だったらこうするなどの意識を持つ。





みんなのCMプロジェクト

• CM内容検討

- 映像で伝えたいことを決める
 - イベントに来てほしい、プロジェクトを理解してほしい、一緒に活動する人を募集などの目的を明確にする
- シナリオを考える
 - 起承転結を考え、メモ程度の絵コンテを作成。
- 秒数の決定
 - 15秒→TVなどのメディアで流してもらいやすいが、レベル高
 - 30秒→どこでも流してもらえる可能性ある、レベル中
 - 1分→伝えたい内容は入れ込みやすいが、素材が多く必要。
- 協力者への呼びかけ
 - 音楽作成、ナレーション、撮影、編集、できる人への呼びかけ





みんなのCMプロジェクト

• 素材集め

– イメージとなる写真

- 過去にやったイベント、既集のコンテンツを整理。
- 必要と思われる写真を撮りにいく

– 映像素材

- ビデオカメラで撮影。イメージを確立させてから撮影。
- キャプチャなどの操作は難しい為、レベル高。

– テキスト、文言の検討

- 各場面に必要なタイトル、キャッチーなコピーを考える
- 演出効果、フォント、特殊効果の必要性。力量と相談
- ナレーションの検討 文字のみではない声による説明





みんなのCMプロジェクト

• 映像編集に挑戦

- 編集ソフトの選定 (基本的にはWindowsムービーメーカー、iMovieをお勧め)
 - たくさんの中からお勧めのソフトを紹介、操作支援
 - Ulead Video Studio、Adobe Premiere Elements
 - Windowsムービーメーカーについては別途資料あり
- 編集・映像ファイル概念の理解
 - 素材を配置、オーケストラの指揮者のような編集の仕方(ノンリニア)
 - 映像ファイルの種類、クオリティなどの理解
 - DVD、wmv、avi、mov、mpg、m4v、flv、3gp etc...
- 編集作業
 - 何気なく見ている映像にもヒントはたくさん。





みんなのCMプロジェクト

• 映像仕上げ

– タイトルや演出効果

- 元となる映像に演出効果を挿入。
- ちょっとした工夫で見やすい伝わりやすい映像に。

– SE、ME、ナレーション

- 音楽、効果音、説明する声を入れていく。
- テンポ、タイミング、トーン、効果を考えて

– 著作権確認

- 多くの人に見てもらおう映像には、考えなければならないこと
- 必ず書面で確認。





みんなのCMプロジェクト

• 映像完成、公開

– 映像を公開

- 完成した映像をややくオリティを下げ、Webにて公開
- 連絡先を明記して、流してもらえ、る媒体へのアピール

– アーカイブ

- 映像を貯めていき、全体として見れるホームページを作成
- 意見や感想、自由にディスカッションできる場

– リンク、連携

- 市民放送局やその他プロジェクトとの連携
- 映像アーカイブとしてY150への提供
- メディアへの露出を考えた戦略、広報

